

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年07月17日

計画の名称	富山県における水道施設等の耐震化推進計画												
計画の期間	令和06年度～令和06年度（1年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	富山市,魚津市,氷見市,立山町,南砺市,高岡市												
計画の目標	富山県内の水道事業における管路や施設の耐震化を推進することで、強靱な水道基盤を形成し、安定した水道水供給を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	2,530	A	2,530	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5年度末		R6年度末
1	交付事業者管内(富山市、魚津市、氷見市、立山町、高岡市)における基幹管路の耐震適合率の向上(令和5年度末:40%→令和6年度末:42%)			
	基幹管路の耐震適合率(%) (耐震適合性のある管の延長)/(基幹管路の総延長)×100	40%	%	42%
2	交付事業者管内(南砺市)における配水池の耐震化率の向上(令和5年度末:21%→令和6年度末:21%)			
	配水池の耐震化率(%) (耐震化済の配水池有効容量)/(配水池全有効容量)×100	21%	%	21%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	水道	一般	富山市	直接	富山市	-	-	水道管路緊急改善事業	基幹管路更新	富山市	■					1,340		-
	A07-002	水道	一般	魚津市	直接	魚津市	-	-	水道管路緊急改善事業	基幹管路更新	魚津市	■					78		-
	A07-003	水道	一般	氷見市	直接	氷見市	-	-	水道管路緊急改善事業	基幹管路更新	氷見市	■					223		-
	A07-004	水道	一般	立山町	直接	立山町	-	-	水道管路緊急改善事業	基幹管路更新	立山町	■					127		-
	A07-005	水道	一般	南砺市	直接	南砺市	-	-	基幹構造物の耐震化事業 （補強）	配水池の耐震化（坂下配水池）	南砺市	■					53		-
A07-006	水道	一般	高岡市	直接	高岡市	-	-	重要施設配水管	重要施設配水管の耐震化	高岡市	■					709		-	
										小計						2,530			
											合計						2,530		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山県厚生部生活衛生課	令和 8 年 7 月
	公表の方法
	富山県のホームページに掲載
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	水道施設の耐震化を推進することによって、基幹管路の耐震適合率が向上し、水道事業の基盤強化を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き水道施設の耐震化を推進し、更なる水道事業の基盤強化を図る。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震適合性のある基幹管路の割合		
	最 終 目標値	42%	資材価格の高騰等によって、事業計画を見直す必要が生じたため、目標値を下回る結果となった。
	最 終 実績値	41%	
2	耐震化済の配水池の割合		
	最 終 目標値	21%	計画通り事業を実施し、目標値に達している。
	最 終 実績値	21%	